

平成 28 年度の資料保全(製本)研修会・図書館ツアーなど

平成 28 年 11 月 15 日と 11 月 22 日の 2 回、都内区市町村立図書館と都関係機関(東京都公文書館、東京都議会図書館、首都大学東京、東京文化会館音楽資料室)の職員を対象に資料保全(製本)研修を行い、合わせて 39 名が受講しました。

これは都立中央図書館が東京都の公立図書館として唯一持っている製本や資料保存に関する知識・技術を少しでも東京都全体に広めていこうと、平成 15 年度から行っているものです。大変、人気のある研修会ですが、対応に限界があるため、参加者は、各自治体・機関から原則として 1 名に絞っていただいで実施しています。保存や修理に関する基本的な考え方や知識を学び、身近にあるページの破れやノドの傷み、表紙の外れた本の修理などの実習を行い、正しい知識と基礎的技術の習得を目指しています(講師は資料保全室職員)。

今までの研修会での主な質問と回答については、[保存・修理についてのQ&A](#)をご覧ください。

また、館内職員向けの研修会を 6 月に行いました。館内職員向けには 11 月 10 日に資料防災訓練(説明会)を 2 回行いました。([都立図書館 Facebook へのリンク](#) 参照)



そのほか、「図書館ツアー」の一環として、8 月 24 日には資料保全に特化した「本の修復見学ツアー」、10 月 12 日には「本の修復見学と和装本づくりツアー」を行い、都民の皆様にご好評でした。

また、平成 28 年度も、資料保全室の業務は、「しごと場見学！—書店・図書館で働く人たち」(ペリカン社 2016.4)ほか、新聞、TV など多くのメディアで取り上げられました。